Food Japan 2026 Post Show Report（速報版）

www.oishii-world.com

会　　期： 2026年10月22日（木）・23日（金）・24日（土）
22日・23日 10:00-17:00／24日 11:00-16:30
※一般公開は24日 11:00-16:30のみ

会　　場： Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre

主　　催： Food Japan 実行委員会 （OJ Events Pte Ltd）

後　　援： 在シンガポール日本国大使館、農林水産省、日本貿易振興機構、自治体国際化協会、シンガポール政府観光局

東南アジア最大級 日本食品総合見本市、会場は熱気に包まれる
日本（３９都道府県）より１８８社・団体が出展 ７，１９４名来場



駐シンガポール日本国 特命全権大使
石川 浩司氏出席のもと開会式開催



初日より会場は熱気に包まれる

第14回を迎えた「Food Japan 2026」では、初日から具体的な仕入れを目的とした来場者と出展各社との間で、活発な商談が繰り広げられた。

展示エリアでは「日本の醤油」「日本の乳製品」「地域」「ウェルネス」「日本産酒類」「中小企業チャレンジ（中小企業庁）」等テーマを絞ったブースも多数出展。

新たに「日本ブランドのペットフード」をテーマにした主催者コーナーも設置された。

会期中、39都道府県から農林水産品、日本産酒類、日本茶、飲料、菓子・スイーツ、加工食品、カトラリーなど、多彩なカテゴリーの製品が一堂に会した。



現地トレンドを捉えた日本産品・製品に熱視線

「デジタルオーダー＆デリバリー」や「健康志向・サステナブル」「体験価値・差別化」など、市場の潮流に合った食品・技術・サービスへの注目が集まった。

とりわけ、ウェルネス関連商品、ハラルフレンドリー商品、即食性食品など、特徴ある商品には来場者の関心も高く、ブースでは具体的な仕入れ相談や価格交渉が相次いだ。東南アジア市場での日本食品の存在感の高さを裏付ける結果となった。

会期前から販路開拓を後押し

東京都中小企業振興公社や日本産酒類輸出促進コンソーシアムでは、会期前より現地バイヤーとのネットワーキングやマスタークラスを実施。輸出に意欲的な地域の事業者を伴走支援し、販路開拓を後押しした。こうした官民一体の取り組みは、現地企業との具体的な商談の一助となった。

次回 2027年 会期・会場（予定）
- 2027年 10月21日・22日・23日
- Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre

お問合せ先　Food Japan 事務局 （日本事務局）　Email: sales@oishii-japan.co.jp